



Good Wood Communication!

かけがいの森から



国の目標「国産材自給率50%」は実現できるのか？

林業行政変革の年 森林・林業再生プラン始動

平成二十四年は森林・林業行政の大きな節目の年となる。民主党が設置した国家戦略室から生まれた「森林・林業再生プラン」がいよいよ本格稼働を始めるからだ。

それを実現するために需要対策として、まず公共建築物木造化が整備され、そして供給対策として森林法が改正されて、従来の森林施業計画制度は、森林経営計画制度と名を変え動き出す。それに伴い、市町の森林整備計画が見直される。



山でチェーンソーを研ぐ長嶋職員
今年も現場の段取りと作業に活躍してくれい

また、施業に対する国の補助金も、やる気をもって林地を集約化し、森林経営計画を立て、計画的に施業を行う者に交付される仕組みとなる。間伐施業では搬出が義務化され、搬出材積が多いほど補助率は高くなる。

ここまで聞くと、林業界の明るい未来が見えてくる気がするが、実際にはどうだろうか？

国の設定した間伐の補助金と丸太の売上で、施業の採算性は成り立つのだろうか？ 森林所有者への還元はできるのか？ 補助金欲しさに、条件の良い場所で強度の間伐を繰り返せば、資源は劣化するし、そのような施業は持続しないだろう。

持続可能な森林経営を行いながら自給率50%を実現するにはハードルは高い。

あけましておめでとうございます
本年もよろしく願いいたします。



新春★女子職員対談
角皆藍子♪ × 落合直子♪
第五回 今回のテーマは「年輪」

角皆♪「今年は居尻の現場で古い木を伐っているところで、テーマは『年輪』ですよ、落合さん！」

落合♪「承知しました。たしかに大きな木ね。年輪も細かいわ。1,2,・・・100・・・おー！130年。すごいね。」

角皆♪「そうですね！130年前・・・歴史年表に『天璋院篤姫逝去』ってありますよ。歴史を感じますね。」

落合♪「この木はその頃からここに生きていたのね。ちなみに私が生まれたのはここ！・・・って年齢が分かっちゃうかしら？」



角皆♪「きっと年輪が細かいから見えなと思いますよ。ちなみに、私はここです。」

落合♪「新しい年、私たちが年輪を重ねていくのね。」

角皆♪「そうですね。年はとりたくないけれど、これはみんな平等ですからねえ。丸太だけに心や気持ちは年々、丸くたくしていきたいですね。」

落合♪「そうそう、ころは丸く、からだはスリムに、ね！」

落合♪ 角皆♪ 「本年もよろしく願いいたします。」
おしまい

違法伐採材を排除 ～合法木材認証制度について～

世界的な森林減少の原因にもなっている違法伐採。この違法伐採による木材が流通することを防ぐため、木材業界では、国産材、外材を問わず、違法伐採材でない「合法性の証明された木材」の証明制度を整えています。証明書の伝達により違法伐採材を排除し、合法木材を供給することに努めています。



北陸の大型製材工場を視察 ～丸太直送の可能性を探る～



先日、福井・富山の大型国産材製材工場2箇所を視察しました。それぞれひと月に5,000m³、3,000m³のスギ材を東海北陸地方から集荷し、集成材の構造材や、間柱、垂木、胴縁などの小割材を生産していました。両工場とも無駄をそぎ落とした圧倒的な効率と、徹底した品質管理に驚かされました。天竜・森・掛川の森林から、これらの工場への丸太の直送を視野に入れた視察でしたが、掛川から定質な材をある程度まとめて出荷できるのは、まだ少し先の話になりそうだと感じました。



台風による風倒木処理 応急箇所作業はひと段落

九月十一日の台風十五号の猛烈な風で、多くの倒木発生し、直後から倒木処理に追われていました。あれから3ヶ月半、応急対応の箇所に関しては、ようやく作業がひと段落しました。

臨んだ現場は四十カ所余り。神経を使う、慎重作業の連続でしたが、なんとか怪我なく進めることができました。



森林組合からのお知らせ

●今年度の事業予定をお知らせします。

境界明確化事業（西之谷地区・黒俣地区）

両地区合わせて 120ha の境界明確化を実施しています。境界立会い等のご協力に感謝申し上げます。

治山事業 西之谷川流域においての3年計画3年目の間伐事業です。本年度は 40haが実施されます。

市道明ヶ島線の一時通行止め等でご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力よろしくお願いたします。

森の力再生事業 上西郷・丹間・大和田・炭焼・千羽・菊川東平尾、各地区で約 80ha実施中です。

●春植え苗木の注文を受け付けています！

山行苗木の注文を受け付けています。

スギ114円・ヒノキ119円

コナラ・クヌギ150円（1本当り）



3月9日（金）までに、森林組合へご連絡ください。

●鹿角森林組合作業班、今年度も来掛！

平成 20 年度から間伐作業をお手伝い頂いている、秋田県の鹿角森林組合の作業班が、今年も来掛し、活躍してくれています。鹿角市は岩手・青森にも近く、昨年 3 月には東日本大震災の影響を少なからず受けたとの事でした。11 月末より作業をしていただいておりますが、今年も皆さんの変わらぬ顔を拝見できてよかったです。今年もよろしくお願いたします。

地産地消！ 県産材の家補助制度の紹介

県内で建てる木の家に県産材を使用することで、県の補助金が支給される制度があります。寸法、乾燥などの一定の品質が担保された「しずおか優良木材」の家に、その使用量により 6 万円から 30 万円の補助金が出ます。

12 月末で 500 棟ほどの利用がされています。詳しくは森林組合まで！



薪割り 薪の種類(材種)と乾燥



燃料といえば「油」の時代。ここでは燃料は「木」だ。山の恵み、木の恵みを燃料としていただく。薪に成り得る材種は様々。一般にカンヤナラなど堅い雑木が薪に向くが、スギやヒノキでも大丈夫。

針葉樹、広葉樹、様々な薪を作って屋根をかけて風通しの良い場所に乾燥させておく。材種より、この乾燥にこだわる。また薪割をして、はじめて分かる木の性質もある。木の筋をみて斧の狙いを定める。年配の方からすれば、煮炊き、風呂に、誰でもやってたあたりまえの話かもしれない。



薪ストーブの設置位置と煙突の話



薪ストーブには煙突がつきの。ストーブをどこに置き、煙突をどう出さか？煙突は当然、壁や屋根を貫通するから、断熱、雨じまいを入念にする必要がある。このあたりは、薪ストーブ専門業者に相談する。排煙効率やメンテナンスを考えると、煙突の屈曲はなるべく少ない方がいい。あとは室内の暖気の循環やストーブ周囲の断熱、ストーブ床下の根太強度などを考慮して設置位置を調整する。

着火！ はやく炎を安定させるには煙突内の上昇気流をつくる

着火はバーベキューのときと同じ。焚き付け用の細い薪から徐々に太い薪に炎を誘導する。着火材を使うのも効率的だ。焚き付け時は、炉の扉を少し開け、炉内の酸素に気を使う。炎を安定させ、温度を早く上げるためには、炉内から煙突への上昇気流を作っておけることが大切だよ。給排気の安定がだんだんと炎を育てていく。



炎の安定 広がる暖気と揺らめく炎



少し太い薪に火が回るようになれば、炉内の燃焼・給排気は安定し、ストーブの温度はどんどん上昇していく。あとは給気口の弁を調整しながら、広がる暖気と揺らめく炎を楽しむ。遠赤外線効果は体の芯を暖めてくれ、炎は、空気の流れや材種によって、様々な色・形を見せてくれる。燃えゆく姿にじっと見入ってしまうのはなぜだろうか。炎には不思議な魅力がある。薪ストーブ・暖炉は様々な可能性を秘めている。

静かなブームの炎が灯っている薪ストーブ。東日本大震災の直後には暖房、調理に役立つという薪ストーブ。今回はそんな薪ストーブについて紹介します。

体感！薪ストーブの薪割りから焚き付け



“これいい！” 購買担当「藍ちゃん」の オススメGOODS!!

にく丸（1,000ヶ入） ￥2,888
（500ヶ入） ￥1,575
ストッパー付きり ￥698

原木から発生したシイタケは味も風味も格別！！
森林組合でも栽培中のオススメ商品です。



組合員さまへのお願い

相続等で所有山林に移動（相続・取得・売却）が生じた際は、森林組合へご一報ください。組合員名簿および出資証券の名義変更が必要です。

●ひとこと 昨年は様々な災害の起きた年でした。掛川で大雪が降った矢先に、東日本大震災が起こりました。夏から秋には台風の上陸による水害、風害が発生しました。今年は少しでも穏やかな年になってほしいと願うばかりです。木々の成長とともに、今年も少し成長していきたいと思っております。ご支援よろしくお願申し上げます。



掛川市森林組合 TEL 0537-25-2111

森林所有意識の薄れ

「山を持っていてもしょうがない」、「山には手が届かないだけで持っているメリットがない」そんな森林所有者の山の所有に対する消極的な声を最近よく耳にする。確かに「その気持ちも分かるな」という部分もある。

しかし、「森林所有者による協同組合、森林組合」にとって、これは大きな問題で、このような考え方の広がり、組織の根底を揺るがしかねない。

森林組合としても「山を持っていてよかった」、「森林組合に入っていてよかった」と思っていただけのような事業展開を考えなければならぬ。また同時に、社会的に森林の所有はどの程度あるべきか、ということや、その育成・管理費の負担、資源活用がどの程度あるべきかをよく考えていく必要もあると感じる。